

(I) 7 月度 主要イベント

- 7 月 11 日(木)、(独法)中小機構との定例会議開催
- 7 月 19 日(金)、中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)定例 4 者会議開催
- 7 月 19 日(金)、広島女性部会主催「第 1 回ビジネス情報交流会」開催
- 7 月 23 日(火)、岡山支部役員会開催
- 7 月 26 日(金)、(公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)全国事務長会議出席
- 7 月 30 日(火)、山口支部役員会開催

(II) トピックス

(1) 広島女性部会主催「第 1 回ビジネス情報交流会」開催

基町クレドパセーラ3F の BOOK AND CAFÉ 「sofa」で、広島女性部会主催の「第 1 回ビジネス情報交流会」を開催しました。今回は、広島女性部会の会員の皆様、会員からの紹介の女性起業家の皆様、広島支部会員企業の女性社員の皆様、SOERU 受賞者・ファイナリストの皆様、総勢 25 名(満員御礼)の皆様にご参加頂き、各々の事業内容の説明やPRを行いました。その後、交流会で多数のビジネスマッチングに成功し、大いに盛り上がりました。

参加者からは、「日頃お会いできない方々と多数お知り合いになれて良かった」、「今回の場で、参加者の方々とコラボレーションが生まれそうなので参加してよかった」、「参加者の事業内容や PR を聞いていると大変刺激になり、自身ももう一度頑張ろうと思った」等多数の好意的なご感想を頂きました。『良質な刺激とご縁を提供する』をモットーにしている中国 NBCらしい会合ができたと事務局一同喜んでおります。

【第 1 回ビジネス情報交流会】



(2) 岡山支部役員会開催

中島支部長他、総勢 5 名の支部役員と 2 名の事務局員で岡山支部役員会を開催しました。岡山支部会員の入退会状況、今年度の支部催事の企画、その他について話し合いました。

岡山支部の会員数は、令和 1 年 7 月時点では 38 先で、広島、島根に次いで 3 番目の会員

数ですが、平成 27 年には会員数は 51 先あったので、再度会員数 50 先を目指したいと事務局は考えております。会員数増加に関しては理事の紹介や NB 大賞受賞者の入会確率が高くなっています。岡山支部では今年度の受賞企業 3 社のうちすでに 2 社が入会済みで 1 社が入会検討中です。退会防止については、会員リストを見ながら優先的に訪問すべき会員企業を検討した結果、総会や催事を欠席されている会員を優先して事務局が訪問することとしました。

支部催事については、11 月 15 日のアイリスオーヤマ(株)の大山会長(JNB 副会長)の講演会は決まっていますが、これ以外の催事について検討した結果、「矢掛町の矢掛屋さんによる街作りの取り組みの現地視察と昨年の豪雨災害の被災から復旧された会員企業である(株)テオリの中山社長に講演をお願いする」案でまとまりました。令和 2 年 2 月開催を目標に、事務局で日程調整など詳細を詰めます。併せて、10 月 24 日に高松市で開催される JNB の全国大会の紹介をし、岡山から香川は近いので是非会員の方々に参加して頂いて刺激を受けて欲しい旨をお伝えしました。また、JNB の政策提言に中国 NBC の声も織り込む活動を進める旨をお知らせしました(政策提言は他支部も同じです)。

【中島支部長(右)】



【岡山支部役員会】



(3) 山口支部役員会開催

寺園山口支部長、藤麻中国 NBC 副会長はじめ総勢 6 名の支部役員と事務局 3 名が参加して、他支部と同様、会員の入退会状況、2019 年度の催事予定について話し合いました。

会員数増加に関しては、中国地域ニュービジネス大賞(NB 大賞)を通じた会員獲得が効果的であり、そのために支部役員として参加して頂いている山口銀行さんや西京銀行さん(金融機関)による NB 大賞応募企業の推薦数を増やしていただくようお願いしました(山口県は応募数が少ない)。退会防止に関しては、定時総会や支部催事への参加を事務局だけでなく支部役員からも推奨し、会員企業同士の出会いの機会(ご縁)を提供しようという事になりました。

支部催事については、本年 11 月にはオタフクホールディングス(株)の佐々木社長(広島支部長)に講演をお願いし、来年 2 月には(株)八天堂カフェリエの工場視察を行う事で決定しました。また、アイリスオーヤマ(株)の大山社長(JNB 副会長)の講演会の案も出ましたが、今からでは年度内の開催は難しく、次年度となりました。早速、日程を押さえようとアイリスオーヤマ会長室マネージャーに連絡を取りましたが、時期が早すぎて決定できないとの事でしたので、改めて来年 3 月初旬をお願いいたします。

(4) その他

① 中国地域女性ビジネスプランコンテスト(SOERU)4 者連携定例会議開催

このコンテストは、企画立ち上げ時の女性メンバーの提案で、『手を添えるような支援をしよう』ということで、SOERU という愛称をつけております。

中国経済産表局(経産局)、日本政策投資銀行(DBJ)、(一社)中国経済連合会(中経連)、それに弊協議会4者によるSOERU定例会議を開催しました。

各団体でのSOERU受賞者へのその後の支援状況を共有化した結果、5件の支援が行われておりました。テレビ出演、雑誌掲載への支援、販売促進イベントへの参加支援等が行われております。SOERUのちらし・ポスターの配布状況についても4団体で例年通り行われていることを確認しました。また、第3回SOERU応募者の見込み先について情報共有化し、7月19日時点で10件程度の応募見込み先がありました。4団体で協力して活動しており、調整に時間がかかることもありますが、それ以上に活動範囲の拡大やきめ細やかな企画立案などのメリットがあります。

ホームページ構成については、協賛企業とサポーター企業のタブを分けて見やすく表示することに決定しました。また、SOERU受賞のメリットについて受賞者の声をまとめてホームページに掲載する事も合意しました。7月19日時点での協賛企業は26社、サポーター企業は23社の状況です。

今回は、発表会当日のタイムスケジュールを各担当が作成して持ちより、中身を確認することとしました。

② (独法)中小機構との定例会議

少し間があきましたが、定例会議を開催しました。中国NBCからは、(a)中国NBC大賞受賞企業、(b)第3回SOERUの開催について説明しました。

中小機構さんからは、(ア)組織改編、(イ)新事業展開への新たな支援スキーム、(ウ)アクセラレーション事業『FASTAR』、(エ)テクノフロンティア岡山、東広島の分譲、(オ)岡山大インキュベーション情報、(カ)中小企業大学校WEB校、(キ)J-GoodTechの活用方法、(ク)スペース・バイオ・ラボラトリーズへの支援状況、(ケ)ハンズオン支援企業情報等について紹介がありました。テクノフロンティアの分譲情報については、中国NBCのメルマガでも紹介することとしました。

NB大賞受賞企業を紹介すると中小機構さんが内部で審査されて基準を満たせば、企業さんと面談、合意の上、支援に入られることがあります。中小機構さんの支援は非常に効果があると経験された会員さんは言われております。また、我々は、中小機構さんの支援スキームを会員さんに紹介し利用して頂くことで会員メリットになっております。引き続き定例会議を続けて連携を維持強化して参ります。

③ JNB主催全国事務局長会議

(公社)日本ニュービジネス協議会連合会(JNB)の事務局長会議(年一回)が開催され、今回は常務理事と事務局長が参加しました。

テーマ1:『オープンイノベーションのススメ』。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のイノベーション推進部長、吉田剛氏が説明されました。関西ニュービジネス協議会の総会(6月)でもNEDOの方が講演されており、NEDOがニュービジネス創出分野に進出しつつある様子がうかがえます。NEDOの拠点は関西であり、新エネルギー分野を中心とした研究開発型ベンチャー支援事業を行っている先については紹介すればメリットがありそうです。2019年度総予算は1,571億円。

テーマ2:『第15回新事業創出全国フォーラム in 香川 10/24』。10月24日に今年のJNB全国大会が香川県高松市で開催される予定で、香川NBCの福家(ふけ)淳子氏が紹介されました。最近ではWEB経由での申し込み方式が多く、中国NBC正副会長のご参加については、事務局で一括申し込みを行う予定で、8月22日の正副会長会議で出欠を確認して申し込みます。

テーマ3:『グローバル人材の活用について』。日本貿易振興機構(JERTO)の高度外国人

活躍推進コーディネータである畑中広氏が説明されました。説明資料の中に弊協議会理事である井上伊三郎会長の井上商店が取り上げられておりました。同社における中国出身の営業マンの活躍について記載されております。

今後の全国フォーラム開催地の選定について JNB より話がありました。2020 年度(16 回)は栃木 NBC、2021 年度(17 回)は神奈川 NBC にて開催される予定が決まっております。2022 年度以降の開催地が未定です。広島は 2006 年度に開催しております。全国の NBC は 26 団体あるので、17 回を過ぎても全国フォーラム未経験の団体が 9 団体程度あります。全国大会を開催するとなると、多大な事務局工数ならびに理事の方々への負担(出席者の動員、費用支援)が予測されますので、未開催 NBC の立候補状況を眺めながら、できるだけ後ろに引っ張るつもりですが、いずれは広島での二回目の全国フォーラム開催が回ってきます。

(5) 7 月度雑感

7 月は SOERU のサポーター並びに協賛金依頼のために中国地域を歩きました。たくさんの方々が SOERU にご支援を下さっております。地域活性化や後進育成に熱心な方々の崇高な奉仕精神に改めて感謝・敬服しております。また、人との出会い(ご縁)の大切さも身にしみております。『因によって始まり、縁によって結果となる』まさにその通りを実感した 7 月でした。

以上